

平成22年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校1年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きですか」の質問に、9割以上の児童が好きと答えており、教科ごとの質問にもすべての教科において、市の平均を上回っている。また、8割以上の児童が土曜日、日曜日にも家庭学習に取り組んでおり、このことから高い学習意欲をもっていることが伺える。しかし、授業への取り組みについては、「授業に必要なものは忘れずに持ってきているか」の肯定割合が低い傾向にあるので、連絡帳の確認及び家庭への協力の呼びかけを継続していきたい。
- ・ あいさつについては、学校や家、地域でもあいさつをしていると答えた児童が多く、好ましい傾向にある。今後は、大きな声で気持ちを込めてあいさつをしたり、自分から進んで相手にあいさつをしたりできるように指導を継続していきたい。
- ・ 「学校での生活に満足しているか」という質問に対しては、全員が「はい」と答えており、充実した学校生活を送っている様子が伺える。あいさつや学校でのきまり・約束についても高い割合で肯定しており、明るく落ち着いた生活を送っているといえる。
- ・ 「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンゲームをしていますか。」という質問に対しては、平日はどの児童も1時間以内となっているが、休日になると2時間以上と答えた児童も1割いるために、今後指導していく必要がある。また、携帯電話を持っている児童はわずかだが、持っている児童については、「携帯電話を使うときのルールを家の人と決めていますか。」という質問で「いいえ」と答えた児童が6割強もいるので、安全に携帯電話を使用していくために家庭と連携をとっていく必要がある。
- ・ 学校がある日の就寝時刻については、9割以上の児童が午後9時頃までに寝ている。起床時刻については、児童の6割強が6時から7時の間に起きているが、5時前に起きる児童も3割ほど見られる。十分な睡眠時間を確保し、生活のリズムを整えられるように指導していきたい。
- ・ 朝食はほぼ全員がとり、また好き嫌いなく食べている児童の割合も高く、好ましい傾向にあるといえる。「運動は好きか」や「歯磨きをしているか」、「健康や体力に自信があるか」の質問に対しても高い割合で肯定しており、健康・体力への意識が高い様子が伺える。しかし、「休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしていますか。」という質問については、肯定割合がやや低いので、教師からいろいろな運動を紹介して児童へ働きかけをしていきたい。